

■ 議会モニターから提出された意見について（令和元年）

No	受付日	意見の要旨	検討結果
1	平成31年3月29日	【質疑時の発言について】 本会議時の質疑における女性議員2名の声が小さく聞き取りにくかった。しっかり話してもらいたい。	発言に際しましては、女性議員に限らず、全議員がマイクの位置を確認して発言するとともに、はっきりと明確に大きな声での発言に努めてまいります。
2	平成31年3月29日	【議場の壁面の色について】 議場は、全体的に暖色系であり、よい雰囲気コーディネートされているが、議長席後方の壁面は鮮やかな白色であり、目にするととても疲れる。 国旗と市旗はそのままよいと思うが、白色の壁面は、ほかの色に変更してもよいのではないかと思います。	議場の壁面の色につきましては、議会改革特別委員会において、議場のバリアフリー化について協議していく中で、さまざまな角度から改善に向け検討してまいります。
3	令和元年6月12日	【議場へのスクリーンの設置について】 地震、水害等の対策について議論する際には、過去の災害時の映像をスクリーンに映して見ながら議論できれば良いのではないかと思います。議員全員が同じ映像を見て議論することは、意味のあることである。	議会改革特別委員会では、議場にスクリーンなどを設置している先進市を視察し、議会のICT化について協議する中で、議場へのスクリーンなどの設置についても協議した経過があります。設置するためには、予算を初め、検討しなければならないさまざまな課題があります。今後も引き続き協議を進めてまいります。
4	令和元年7月2日	【委員会での予算・決算の審査について】 市議会の委員会に予算・決算委員会を設け、戸田市自治基本条例及び総合振興計画並びに執行部の年度業務計画等が当該年度予算、決算に反映されているか、また、予算を編成する段階における予算の大枠や全体的な組み方といった点についても審議していただきたい。 予算・決算委員会を設けることが可能であれば、総務委員会において、予算・決算について、集中的に審議する日程を設け、市政の基本的な情報を市民に提供していただきたい。	委員会での予算・決算の審査方法については、過去に議会改革特別委員会において、予算・決算委員会の導入を含め、検討した経過があります。今回いただいたご意見を契機に、改めて議会改革特別委員会において検討してまいります。
5	令和元年7月2日	【議場のバリアフリー化などについて】 (議会改革特別委員会で議題となっている) 議場施設のバリアフリー化など(例: 議場内の温度調整、バリアフリー化、壁面の色の改善など)の議題については、課題をとりまとめたうえで、議会事務局から執行部に要求・要望等を行っていくべき話ではないかと思えます。	議会改革特別委員会では、議場にモニターを設置している先進市を視察するなど、議会のICT化の一環として、議場へのモニターの設置を協議した経過があります。設置するためには、予算を初め、検討しなければならないさまざまな課題があります。今後も引き続き協議を進めてまいります。
6	令和元年7月2日	【市議会モニターの任期について】 市議会モニターの任期は、1年であり、再任が可能となっているが、連続して2期を超えてはならないと「戸田市議会モニター設置要綱」に規定されている。しかし、提案事項・改善事項等の継続性を鑑みれば、連続任期を4年程度に変更するべきではないかと思えます。	市議会モニターの任期については、議会運営委員会において協議いたしました。市民の多様な意見などを広く徴取するという制度の目的に鑑み、任期1年、連続2期までとする規定を継続することとなりました。 なお、議会モニター制度については、制度開始から8年が経過したところであることから、モニターの任期を含め、改善すべき点がないか、議会運営委員会において、引き続き協議してまいります。